



欄に数値またはコメントを記入

<b>1. 建物概要</b>						
建物名称	(仮称)ラピスタ熱海テラス新築工事 BD棟	BEE	1.2	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.4	/5		がんばろう		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9	/5		がんばろう		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.0	/5		ふつう		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	3.2	/5		ふつう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		得点	2.4
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>③宿泊)客室でカーテン+庇</li> <li>④給水汚水雑排水管の主要用途3種についてB以上で、Eは不使用</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤生物環境の保全と創出</li> <li>⑥敷地内温熱環境の向上</li> </ul> </li> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑦BPIm=0.93</li> <li>⑩運用・維持・保全の基本方針を定めて建築主へ提出している</li> </ul> </li> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑫断熱材:露天風呂床、ビニル系床材:アスレチックジム床</li> <li>⑬内装が乾式工法で分別性に配慮、フリーアクセスフロア採用</li> <li>⑬ODP=0.01未満かつ、GWP=50未満の断熱材を使用</li> </ul> </li> </ul>	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 昼光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔		
		Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥	
		LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩	
		LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.1.1 ⑫ 2.1.2 ⑫ 2.1.3 ⑫ 2.1.4 ⑫ 2.1.5 ⑫ 2.1.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬	
	LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮		
<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</li> </ul>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	2.9 ⑰ 耐震性 ⑱ 免震・制振性能 ⑲ 空調・換気設備 ⑲ 給排水・衛生設備 ⑲ 電気設備 ⑲ 機械・配管支持方法 ⑲ 通信・情報設備	
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑱0.1≦[壁長さ比率]&lt;0.3</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)</li> </ul>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ ⑲ Q-3 3 3.1 ㉑	3.0 ⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上	
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑵生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑶敷地内温熱環境の向上)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>㉒景観条例に則した建物形状、植栽による良好な景観形</li> </ul> </li> <li>■敷地外環境対策 (⑶温熱環境悪化の改善)</li> </ul>	Q-3 1 ⑵ 2 ⑶ 3 3.2 ⑶ LR-3 2 2.2 ⑶	3.2 ⑵ 生物環境の保全と創出 ⑶ まちなみ景観への配慮 ⑶ 敷地内温熱環境の向上 ⑶ 温熱環境悪化の改善	

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ラビスタ熱海テラス 新築工事	階数	地上5F、地下2F
建設地	熱海市東海岸町85-2 外	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	642 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年5月 予定	評価の実施日	2021年5月7日
敷地面積	仮想敷地3532.00㎡	作成者	(株)佐野建築研究所
建築面積	1,597 ㎡	確認日	2021年5月7日
延床面積	7,735 ㎡	確認者	(株)佐野建築研究所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 86%  
③上記+②以外の 86%  
④上記+ 86%

138 (kg-CO<sub>2</sub>/年・1㎡)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 3.3**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3

音環境	3.3
温熱環境	2.6
光・視環境	3.8
空気質環境	3.9

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3

機能性	3.7
耐用性	2.9
対応性	3.3

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.4

生物環境	3.0
まちなみ	4.0
地域性・	3.0

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.1

建物外皮の	3.5
自然エネ	3.0
設備システ	2.8
効率的	3.5

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1

水資源	2.2
非再生材料の	3.4
汚染物質	3.3

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.5
地域環境	3.0
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		その他
<p><b>総合</b></p> <p>これはCASBEE静岡2016年版による評価結果です。熱海という斜面地より海を望む立地から、欧州の海岸線のリゾートをイメージしたコンセプトとして計画している。石や天然素材の他、耐久性の高い材料を使用し、ライフサイクルコストの低減を考慮している。</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>昼光率を高めに設定し、また、カーテンや庇を採用するなど、光・視環境に配慮している。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映することにより心理性・快適性に配慮している。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>緑地を設けることにより、良好な景観を形成している。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>ノンフロン断熱材を採用するなど、汚染物質含有材料の使用を回避している。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>適切な量の駐車場を確保し利便性に配慮、荷捌き車両の駐車施設を確保するなど、交通負荷の抑制に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される